

# いろいろ通信

第2号(2016年12月30日)

－未来を生きる村づくり－特定非営利活動法人いろいろ  
contact@npo-irori.org <http://www.npo-irori.org/>

編集責任：共同理事長 浦野 喬・近藤智和

## 晩秋の奥会津・水引集落で 恒例の茅刈りツアーを開催

11月5日、6日の2日間、福島県南会津町（旧館岩村）の水引集落で茅刈りツアーを開催しました。7棟の茅葺き民家が残る水引では、毎年秋に屋根の材料になる茅を刈り取ります。かつて集落総出で行われたこの行事も、茅葺き民家の減少や高齢化によって人手が不足し、2007年よりNPO法人山村集落再生塾が「茅刈りツアー」としてイベント化するようになりました。以来都市・農村の交流促進として親しまれ、いまでは毎年好評の行事となっています。

今回は私たちNPO法人いろいろが運営主体になって初の茅刈りツアーでした。参加者が集まるのか、満足してもらえるプログラムにできるのか不安でしたが、スタッフを含め定員いっぱいの20名に参加申し込みをいただき、無事に終えることができました。「毎回参加している」というリピーターの方から初参加の方まで、さらには秋田県仙北市の屋根葺き職人さんや、岐阜県白川郷の地域おこし協力隊の方にもご参加いただき、「参加者同



士の交流が楽しかった」という声も多く寄せられました。

開催にあたり、共催者である水引集落の方々には茅刈りの指導や郷土料理の準備などをご担当。また、協力者である南会津町館岩支所からは、茅運搬用の2トントラックや軽トラック、緊急時の救急箱などをお借りすることができました。

参加者の皆さまにも、鉄道ご利用の方の送迎や受付対応などをしていただきましたし、夜の懇親会ではお酒の差し入れもいただきました。まさに「みんなでつくるイベント」という思いを強く抱いた次第です。ご参加、ご協力いただいた皆さまに、この場を借りて改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。（事前にご案内していた「第9回茅刈りツアー」は、「第10回」の誤りでした）



長老のお手本に、参加者一同感心しきり！

## 初の試み、郷土料理体験会！

茅刈りツアーのお楽しみといえば、2日目のお昼に振る舞われる郷土料理。メニューは名物のそばや赤かぶ漬、南会津伝統のぼんでい餅、土地産

の野菜を使った煮物など盛りだくさんです。これまで集落のご婦人に任せきりだった料理づくりに、今回は参加者にも加わっていただきました。

参加者からは「ご婦人方と交流できて楽しかった」という感想をいただきました。次回以降も、貴重なふれあいの場として継続したいと考えています。その一方、「ご婦人方のサポートが中心で、もう少し調理にかかわりたかった」という意見も聞かれました。この点は来年以降の検討課題とさせていただきます。



## 元気に花を咲かせますように～ 山桜植樹地の冬支度を行いました

水引集落には、NPO 法人山村集落再生塾が 2012 年より 3 年計画で整備した山桜の植樹地があります。植えられた山桜の多くは、いままも成長途中に



ある幼木です。そこで無事に冬を越せるよう、茅刈りツアー終了後に 1 時間ほど時間を設け、有志による冬支度を行いました。

冬支度は、雪の重みで枝が下を向かないように幹にくくり付ける作業と、シカに樹皮を食べられないよう、幹に網戸用の網を巻き付ける作業の 2 つ。今回確認できた山桜はおよそ 110 本です。冬支度をした木々が冬を越し、来年の春に元気な新芽をつけることを願っております。

### <ご案内> 館岩の新春行事

歳の神を見に行きませんか？

新年 1 月 14 日（土）に南会津町館岩地区の湯ノ花集落で、15 日（日）に前沢集落で、それぞれ歳の神（さいのかみ）が行われます。歳の神は正月飾りなどを燃やし、五穀豊穡や無病息災を願う伝統行事です。この両日、館岩に滞在して歳の神を見学しながら、冬の水引集落を探訪しませんか？ ご一緒いただける方はメールにてお問い合わせをお願いします。（[contact@npo-irori.org](mailto:contact@npo-irori.org)）

### 茅刈り Q & A

刈った茅の量はどのように測るの？

茅は直径 18～20cm ほどで 1 束にまとめます。この 1 束を 1 把（ば）と数え、以下 6 把で 1 ポッチ、6 ポッチで 1 段となります。この「段」が茅の基本単位ですが、1 把の太さには個人差があるため、いつの頃からか 2 間縄を使って計量することが習慣化しました。1 間の長さには地域差があり、水引では 1.909m で、2 間は 3.818m になります。2 間縄で 1 周分の茅が「1 ヶ（しめ）」です。今回の茅刈りツアーでは、2 日間でおおよそ 5 ヶ半を刈り取れました。近年の水引で 1 軒の差し茅に必要な量は 3～3.5 ヶほどですから、おおむね 1 軒半の茅を刈り取れたこととなります。（取材協力 / NPO 法人山村集落再生塾 藤木良明理事長）